

平成 31 年 3 月 12 日

意見発表

西村委員

私は、公明党神奈川県議団を代表し、当委員会に付託されている諸議案に対し、賛成の立場から意見発表を行います。

まず、神奈川県障がい者スポーツ協会(仮称)設立に向けた基本方針案についてです。障がい者スポーツ協会は、我が会派の本会議一般質問での提言を受けて、検討、取組を進めていただき平成 31 年度中の設立を目指すということです。まず、スピーディな対応を評価したいと思います。今後、障害者スポーツの競技力向上だけでなく、障害者スポーツの裾野の拡大にもつなげていただきたいと思いますよう要望します。

また、障害者スポーツの普及推進のためには、障害者スポーツ指導者のみならず支える方々の御協力が不可欠です。全国障害者スポーツ大会への帯同時は、競技に関わるコーチングだけでなく生活サポートも行うとのこと。大変な重労働であると推察します。現場からは、高齢化により支える側の体力の低下を憂う声や、新たな人材確保が難しいといった声を伺っています。例えばスポーツ推進員の方々に働き掛け、障害者のサポートやユニバーサルマナーなどの研修を展開して、障害者スポーツをも支えていただけるような人材育成の取組を御検討ください。

また、全国障害者スポーツ大会の選手団には、神奈川リハビリテーションセンターの医師を含む医療チームも帯同されると伺いました。しかし、ほとんどの障害者スポーツ団体が体調管理やコンディショニングを行えるようなスタッフを用意してはいません。ボッチャに関しては、神奈川県鍼灸マッサージ師会の方々がコンディショニングケアに当たられています。障害者の方々の中には、同じ姿勢をとることの負担が体調に影響する場合もあると伺いました。障害者スポーツ団体とコンディショニングケアを行ってくれる民間団体とを結ぶことについても、県の支援をお願いします。協会の設立は、ゴールではなく設立後の活動も見据え、障害者スポーツの振興に努められますよう要望します。

次に、観光施策についてです。神奈川県観光振興計画(案)について御報告を頂きました。ラグビーワールドカップ、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国人観光客誘致の取組を強力に進めていただいておりますが、私からはワールドイベント後の対応として M I C E の活用、具体的に O M C 世界理容美容機構の世界大会について取り上げました。レセプションの開催や、理美容関係者が興味を抱くであろう、本県観光スポットの紹介など御答弁を頂いたところです。M I C E に関しては、他部局の方が先に情報を入手されるケースもあると考えます。アンテナを張って情報を収集し、民間事業者とも連携しながら外国人観光客誘致に向けた取組を推進されますよう要望します。

次に、これも我が会派の一般質問で提言し、今定例会でも取り上げたシェアサイクルを活用した観光振興についてです。湘南地域の魅力を発信し、シェアサイクルを多くの観光客に利用していただけるよう、サイクルポートの設置や

鉄道事業者による情報発信など、民間事業者の協力を要請する中で、地域の機運を高めていく取組をお願いします。併せて、自転車道の整備についても関係部局に強く働きかけられますよう要望します。

最後に、当委員会でラグビーワールドカップ開催に関連して、開催地の一つである岩手県釜石市の子供たちとの交流について、提言をさせていただきました。2月16日、17日、小田原市で開催された神奈川県ミニラグビーファイナルカップに合わせて、岩手県と神奈川県横浜市の小学生による交流大会を開催していただきました。今後もスポーツを通じて、子供たちに友情のレガシーを築くような取組を継続していただけますよう要望し、当委員会に付託されている諸議案に賛成をして意見発表とします。